

特別支援教育コーナー

特別な支援を必要とする幼児児童生徒の引継ぎ

年度末は、個別の教育支援計画や個別の指導計画等の評価・見直しを行い、学習活動や教育課程全体の改善につなげる大切な時期です。園・校内の教職員や保護者、関係機関等と1年間の成長や指導・支援の状況を振り返るとともに、年度末、年度初めに行う業務内容等の確認を行い、切れ目ない「のりしろ」のある引継ぎができるよう準備を進めましょう。

自立・社会参加に向けた「のりしろ」のある引継ぎの充実

＜一人一人の教育的ニーズを把握し、幼児期から学校卒業後までの一貫した支援を行います＞



各移行期における引継ぎの重点ポイント

幼稚園等から小学校へ
 ・教科の学習が始まるなど環境が大きく変わります。教室の様子や1日の流れ等入学後の生活について情報を共有し、具体的な姿をイメージしながら引き継ぎます。

小学校から中学校へ
 ・教科担任制になることから、配慮事項や学習活動における困難さの状態、支援等を整理して引き継ぐとともに、職員間で共有することが大切です。

中学校から高等学校等へ
 ・保護者と本人の学習や生活等の状況を共有しながら支援の必要性を確認し、保護者の理解と協力を得て、個別の教育支援計画等の確実な引継ぎを行います。

E 進級時には

- ・個人ファイルを作成し、資料等を整理して綴りましょう。
- ・引き継ぐ内容とともに、「いつ」「だれと」「何を」「どのように」を確認しながら引き継ぐ準備を進めましょう。

保護者の思いを受け止め、寄り添う姿勢で

◇1年間の成長や課題が確実に引き継がれるのか、保護者は不安を感じています。日頃から保護者の思いに耳を傾け、「見守ってくれる先生がいるから大丈夫。」と思える関係づくりに心がけましょう。



「配慮事項」や「支援のコツ」を引き継ぐ

◇座席の位置等の配慮や関わり方の工夫、支援のコツ等を引き継ぐことも大切です。
 ※中学校から高等学校への引継ぎについては、県教育委員会高等学校課が作成したリーフレットを(高等学校課HPに掲載)ご覧ください。



個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成・活用



個別の教育支援計画等は個に応じた教育を展開していくための設計図です。作成の対象や目指す姿、評価・見直しの方法や時期等を校内委員会等で確認し、組織的・継続的かつ計画的に作成・活用していきましょう。

個別の教育支援計画

園・学校生活だけでなく、家庭生活や地域での生活も含め、幼児期から学校卒業後までの切れ目ない支援を行うため、家庭や関係機関等と連携し、様々な側面からの取組を計画したツール。

＜チェックしてみましょう＞

- 保護者、関係機関等と情報交換しながら、本人の状況や本人・保護者のニーズ、園・学校や関係機関等の支援について加筆・修正していますか。
- 記載内容について、必ず保護者に確認してもらっていますか。
- 個人情報が含まれます。関係機関等との情報共有に当たって、事前に本人・保護者の同意を得ていますか。

評価・見直しのポイント

個別の指導計画

園・学校生活全般の具体的な指導の目標や内容、配慮事項などを示した計画。特別支援学級在籍児童生徒は、各教科等における指導の目標や内容等を明確にし、教育課程等を具体化するためのツール。

＜チェックしてみましょう＞

- 目標に対する幼児児童生徒の変容を評価するだけでなく指導者の支援(活動内容や活動量、支援は適切だったか等)も評価していますか。
- 校内の教職員で評価・見直しを行うなどし、次年度に向けた共通理解ができていますか。



懇談時等に個別の指導計画を保護者と共有しておくことで、家庭との連携がスムーズに行えます。

「特別支援教育の手引」の活用



◇「担任の1年」(P40～)では、年度末・年度初めに行う引継ぎ準備等をチェックしながら確認できます。

【学級経営】	◎授業計画	◎教科書	◎指導計画
◎教科書	◎指導計画	◎評価	◎見直し
◎評価	◎見直し	◎個別の指導計画	◎個別の教育支援計画
◎個別の教育支援計画	◎個別の指導計画	◎個別の教育支援計画	◎個別の指導計画

◇「校内支援体制」(P16～)では、支援会議について確認ができます。保護者、関係者で情報を収集・共有して、支援の目標や内容、役割分担等を確認することが大切です。

◇「個別の教育支援計画と個別の指導計画」(P7～)では、Q&Aで引継ぎ時のポイント等が確認できます。

◇「様式例」(P60～)では、個別の教育支援計画等の取扱いや記載の注意事項、記載例等を確認できます。

「手引」は、特別支援教育課HPよりダウンロードできます!



切れ目ない「のりしろ」のある引継ぎを行うためには、全ての教職員の理解と協力のもと組織的な取組が必要です。通常の学級や特別支援学級、通級による指導、交流及び共同学習などそれぞれの学びの場で、幼児児童生徒が安心して学び、自立・社会参加に向けてもてる力を発揮できるよう、特別支援教育の園・校内支援体制の機能充実を図り、確実な引継ぎを行いましょ。